

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 28 日 (2011.7.28)

【公開番号】特開 2009-242767 (P2009-242767A)

【公開日】平成 21 年 10 月 22 日 (2009.10.22)

【年通号数】公開・登録公報 2009-042

【出願番号】特願 2008-153294 (P2008-153294)

【国際特許分類】

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 J 133/00

G 0 2 B 5/30

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 7/02 Z

G 0 2 F 1/1335

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 13 日 (2011.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モノマー単位として、(a) アルキル(メタ)アクリレート 34 ~ 94 重量%、(b) 芳香環含有(メタ)アクリレート 5 ~ 50 重量%、および(c) アミノ基含有(メタ)アクリレート 0.01 ~ 0.5 重量%を含有してなる(メタ)アクリル系ポリマー；並びに、

該(メタ)アクリル系ポリマー 100 重量部に対して、過酸化物 0.01 ~ 2 重量部およびシランカップリング剤を 0.01 ~ 2 重量部含有してなることを特徴とする光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 2】

前記(メタ)アクリル系ポリマーのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによる重量平均分子量が、160 万 ~ 300 万であることを特徴とする請求項 1 記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 3】

前記(メタ)アクリル系ポリマーが、さらに、(d) 水酸基含有(メタ)アクリレート 0.05 ~ 2 重量%および/または(e) カルボキシル基含有(メタ)アクリレート 0.05 ~ 3 重量%を含有してなることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 4】

さらに、前記(メタ)アクリル系ポリマー 100 重量部に対して、イソシアネート系架

橋剤を 0.01 ~ 2 重量部含有してなることを特徴とする請求項 1 から 3 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 5】

前記(メタ)アクリル系ポリマーの分散比(M_w / M_n)が 1 ~ 10 であることを特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 6】

前記アミノ基含有(メタ)アクリレートが、第 3 級アミノ基含有(メタ)アクリレートであることを特徴とする請求項 1 から 5 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 7】

前記芳香環含有(メタ)アクリレートが、フェノキシエチル(メタ)アクリレートおよびベンジル(メタ)アクリレートからなる群より選択される 1 種またはその双方であることを特徴とする請求項 1 から 6 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 8】

前記フェノキシエチル(メタ)アクリレートが、前記(メタ)アクリル系ポリマーを構成するモノマー全体の 5 ~ 20 重量%を占めることを特徴とする請求項 7 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 9】

前記シランカップリング剤が、アセトアセチル基またはアミノ基を有することを特徴とする請求項 1 から 8 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物。

【請求項 10】

請求項 1 から 9 のいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤組成物を塗工して架橋反応させることによって得られ、塗工 1 時間後のゲル分率が 55 ~ 95 % であり、屈折率が 1.50 未満であることを特徴とする光学フィルム用粘着剤層。

【請求項 11】

塗工 1 週間後のゲル分率が 60 ~ 95 % であることを特徴とする請求項 10 に記載の光学フィルム用粘着剤層。

【請求項 12】

塗工後、23 ~ 65 % RH で 1 週間放置した後、さらに 90 ° で 120 時間乾燥した後のゲル分率が 40 ~ 95 重量%であり、かつ塗工後 23 ~ 65 % RH で 1 週間放置後のゲル分率との差が 20 重量%以下であることを特徴とする請求項 11 に記載の光学フィルム用粘着剤層。

【請求項 13】

光学フィルムの少なくとも片側に、請求項 10 から 12 までのいずれかに記載の光学フィルム用粘着剤層が形成されていることを特徴とする粘着型光学フィルム。

【請求項 14】

粘着剤塗工 1 週間後の保持力(H)が 20 ~ 350 μm であることを特徴とする請求項 13 に記載の粘着型光学フィルム。

【請求項 15】

25 mm 幅として、無アルカリガラス板に前記粘着層を介して、2 kg ロールで 1 往復して貼着し、23 ° で 1 時間放置した後、90 度方向に 300 mm/分 で引き剥がす際の接着力(F1)が、1 N / 25 mm ~ 10 N / 25 mm であることを特徴とする請求項 14 に記載の粘着型光学フィルム。

【請求項 16】

23 ° で 1 時間放置した後、さらに 60 ° で 48 時間乾燥した後に、90 度方向に 300 mm/分 で引き剥がす際の接着力(F2)が、2 N / 25 mm ~ 15 N / 25 mm であることを特徴とする請求項 15 に記載の粘着型光学フィルム。

【請求項 17】

請求項 13 から 16 までのいずれかに記載の粘着型光学フィルムを少なくとも 1 つ用いたことを特徴とする画像表示装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

耐久性向上、光漏れ改善、およびリワーク性の向上の為に、アクリルエステルと芳香環含有モノマーおよび水酸基含有モノマーを共重合してなるポリマーをベースとした粘着剤組成物も提案されている（特許文献８および９）が、分子量が低く分散度が高い為、耐久性は満足いくものではない。また再剥離時の汚染や糊残りの改善を企図しているが、軽剥離性ではなく、実用的には満足いくものではない。

【特許文献１】特開２００３－３２９８３７号公報

【特許文献２】特開２００４－０９１４９９号公報

【特許文献３】特開２００４－０９１５００号公報

【特許文献４】特開２００７－１３８１４７号公報

【特許文献５】特公昭６２－２３２８７号公報

【特許文献６】特許第３５９４２０６号

【特許文献７】特許第３５３３５８９号

【特許文献８】特開２００７－１３８０５７号公報

【特許文献９】特開２００７－１３８０５６号公報